

木材価格市況標準相場

令和5年12月4日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	5
米材製品	5
(2) 値下げ品目	3
合板	3

○今月の市況動向

11月の商況は、原木価格の上昇・円安・在庫量の減少等、コストUPの要因が多い中、荷動きの回復が遅く、値を上げられない旨の内容が多かった。

(国産材) 秋田では、中国木材(株)の原木集荷が本格化し、価格は高水準を保っている。構造材と役物共に、輸入材のコスト高の影響で、国産材への樹種変更が見られるとの報告が多かった。

(輸入材) 中国木材(株)の受注制限が続いており、先月と同様に米材製品が値を上げた。その影響で、価格競争となっているプレカット工場では、採算が厳しくなっているとの報告もあった。他の輸入材も現地の採算は厳しい状況が続いている。

(合板) 国内針葉樹合板では、最先端の問屋仕入価格が、業界紙の一面に掲載された為、値下げ圧力が強まり、市場は混乱し値下がりとなった。「市場の混乱を招く、安易な価格掲載は断固として反対します。」との強い意見もあった。